実施報告

沖縄発の橋梁点検技術講習（ブリッジインスペクター）
～工学部附属地域創生研究センター～

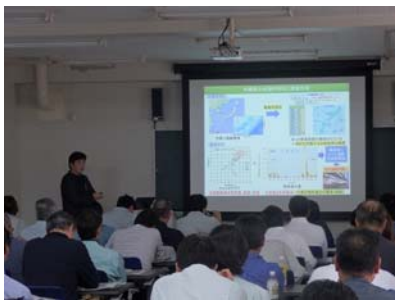
工学部附属地域創生研究センターの主催で，ブリッジインスペクター講習が 11 月 30 日－12 月 1 日の 2 日間にわたり開催されました．本講習は，橋梁定期点検精度の確保と橋梁点検技術者の技術向上を図ることを目的に，工学部附属地域創生研究センター・エンジニアリングソリューション部門で運営及び資格の認定を行っております．本講習会では、亜熱帯島嶼環境の沖縄の橋梁を点検するための必要な知識や点検技術として，沖縄特有の強紫外線による材料劣化，海からの飛来塩分と高温多湿環境による塩害（写真 1），強風・台風によるインフラ構造物の振動による疲労損傷の特徴を修得します．そのことによって，沖縄の橋梁を安全安心に守れる橋梁専門点検技術者（ブリッジインスペクター）を育成します．今年度は県内民間コンサルタント会社より，53 名の受講者が参加しました．

写真 1　塩害により劣化した橋梁

以下に 2 日間の講習のカリキュラムを示します．

・橋梁の維持管理に関する一般概論（内閣府沖縄総合事務局保全企画官）
・国土交通省の橋梁定期点検要領の解説（沖縄しまたて協会 技術環境研究所），
・コンクリート橋梁の損傷事例（地域創生研究センター　富山潤准教授）
・鋼橋の損傷事例（地域創生研究センター　副センター長　下里哲弘・教授）
・実劣化コンクリート橋梁を用いた打音検査・損傷図のスケッチの実技講習（コンサルタント会社）
・琉球大学開発の 3DCG を用いた腐食鋼橋の点検シミュレータによる講習

下里教授（副センター長）の講義



富山准教授（地域創生研究センター）の講義

開発した点検シミュレータ

損傷スケッチの実技講習

講習終了後には，橋梁定期点検に求められる技量認定として筆記試験が行われ，合格者には合格通知書が発行されます．なお，ブリッジインスペクターの資格は，国土交通省の「公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格」へ登録されており，国や地方公共団体の業務への活用が進められています．

工学部附属地域創生研究センター
田井政行・須田裕哉